

令和2年度 日本大学経済学部 A0 (アドミッション・オフィス) 入学試験
論文・プレゼンテーションによる選考 第一次選考 小論文課題

日本大学経済学部

以下の課題について、入学試験要項（本学部ホームページよりダウンロードしてください）に含まれる指定用紙を使い、2,700字以上3,000字以内で小論文を書きなさい。ただし、図表や参考文献リストなどは文字数には含みません。

【課題】

私たちが生活をしていく上で、ゴミが出てしまうことは避けられません。家庭から出るゴミについては、自治体等が無料または有料で回収していますが、その際にはどの地域においてもゴミの分別が求められています。下の表を見ると分かるように、地域によって、非常に細かく分別することが求められる場合もあれば、そうではない場合もあります。またゴミを分別する種類数によって1人1日当たりの排出量に違いがあり、大まかな傾向を見ると、分別種類数が多くなるほどゴミの排出量は少なくなるようです。

あなたが住む地域では、どのような分別ルールが採用されているでしょうか。まず地元地域のゴミの分別ルールについて調べ、説明してください。その上で、環境に与える影響、分別に伴う費用、その他の物理的な制約など、様々な観点からあなたの住む地域の現行制度を評価し、より望ましいと思われる分別ルールを提案してください。また現行制度が最善であると考えられる場合には、その理由を説明してください。

なお理由や根拠を述べる際には、文献による検討だけでなく、実地調査や自治体関係者等へのインタビュー調査（直接の訪問、電話や電子メールなど）を自分自身でおこなってください。

表：ゴミ分別の状況（平成29年度実績）

分別数	分別なし	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類	11~15種類	16~20種類	21~25種類	26種類以上
市町村数	0	5	7	9	39	66	61	89	107	115	639	425	128	29
1人1日当たり排出量 (グラム/人日)	0	902	1,058	1,103	979	983	1,009	919	906	905	891	890	849	860

注)・1人1日当たりの排出量は各市町村の1人1日当たりの排出量の単純平均値

・東京都23区は1市とし、分別数の最も多い種類で集計。

出所：環境省環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課（平成31年3月）「日本の廃棄物処理平成29年度版」https://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/h29/data/disposal.pdf

- ・実地調査・インタビューについては、調査した相手（公開に同意した場合）、実施した年月日、場所を明記するとともに、訪問先一覧を別紙に示してください。公開の承諾が得られなかった場合にはその旨を記載し、A社などとしてください。
- ・インターネットや書籍などを用いた場合は、URLや文献情報（著者名、書名、発行所、発行年、ページ数）を明記し、利用したデータの出所も明らかにしてください。URL・文献・データの情報は、別紙にまとめて添付してください。
- ・本文以外に添付する別紙は、A4版5枚以内としてください。

<利用した文献等の記載例>

実地調査・インタビューの場合：

株式会社 日大、広報部、日大ケイ太、2019年10月8日、東京都千代田区

インターネットの場合：

日本大学経済学部 (<http://www.eco.nihon-u.ac.jp/index.php> : 閲覧日 2019年5月23日)

書籍の場合：日大ケイ子『詳説 日大経済』三崎町出版、2017年、23-33ページ

新聞の場合：『日大経済新聞』朝刊、2019年5月10日3面

データの場合：総務省「労働力調査」、2016年